

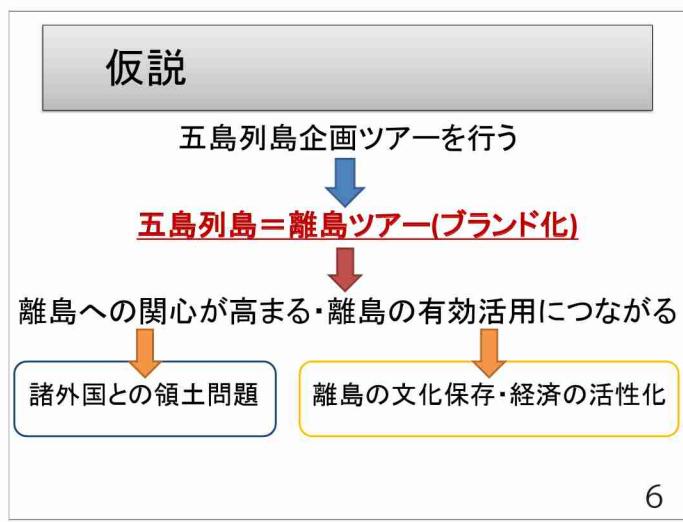
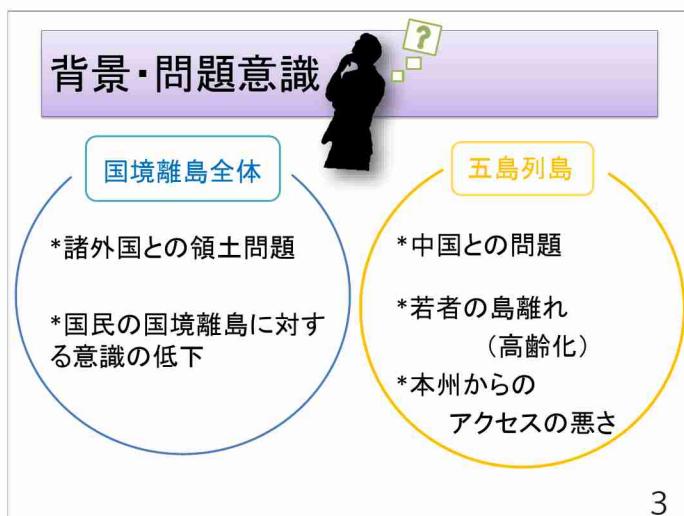
B班 五島列島

～非日常空間で再発見する日本の島の魅力～ (1/2)



【サンゴ密漁】200隻超す大船団「海が中国に占領される」因縁呑む五島の島民ら 脅威、今は小笠原・伊豆で
2014.11.7 08:29

ツイート おすすめ 53 G+ 5 LINEで読む ブックマーク 0



B班 五島列島

～非日常空間で再発見する日本の島の魅力～ (2/2)

グランピングを用いるメリット

<提供側>

*他の無人島ツアーとの差別化

→新しくハコモノを作る必要がない



*設備の充実

→オールシーズン対応できる！



*最低限の建造物でよい

→自然を破壊せず、建設コストもおさえる

<旅行者側>

高級感のあるキャンプで**非日常体験ができる**

7

ターゲット



カップル・夫婦



女子旅



男女グループ



ファミリー



パパ子



8

有人島の魅力

福江島

- ・高浜海水浴場
- ・堂崎天主堂
- ・鬼岳
- ・魚津ヶ崎公園
- ・大瀬崎灯台



新上五島町

- ・青砂ヶ浦天主堂
- ・五島うどんの里

奈留島

- ・前島のトンボロ
- ・城岳展望台



久賀島

- ・浜脇教会
- ・椿原始林

9

目指すもの



五島列島＝離島ツアー



雇用創出



経済の活性化



島の魅力のPR

10

支援依頼

管理

- ・行政
- ↓
- ・島の人々

運営

- ・島の人々



プロモーション

- ・旅行会社
- ・立ち飲みバル（新橋）
- ・五島列島に訪れた人



～終わりに～

1 ただのツアー企画ではない

2 ブランディング

3 あるものを活かす

12

C班 クルーズ船で行く南鳥島修学旅行（1/2）

1

クルーズ船で行く 南鳥島修学旅行

C班
青木翼、池浦万結、諏訪愛実
尾高みなみ、笠原春菜

発表の流れ

- ①企画案
- ②高校修学旅行の実態
- ③目的
- ④問題意識・仮説
- ⑤ツアー内容
- ⑥企画主体

3

企画案

* 日本の高校生の修学旅行

その中から…

首都圏の私立高校をターゲットに！！

▶ 公立高校は、私立高校に比べて予算や日程の制約がある。

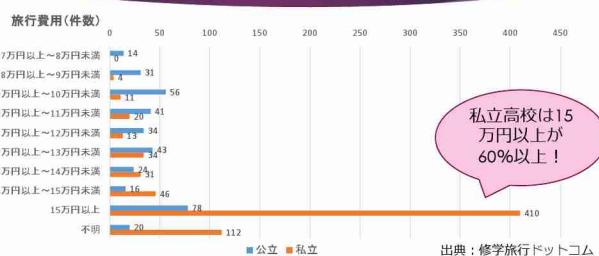
2

高校修学旅行の実態①



5

高校修学旅行の実態②



6

目的

▶ 若者の国境離島に対する認知向上

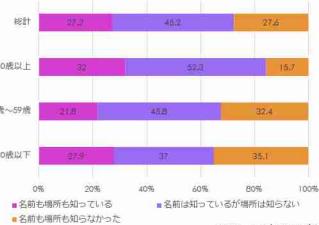
▶ 戦争の歴史を学ぶ

▶ クルーズ旅行への興味・関心



▶ 异文化交流

問題意識・仮説



7

問題意識・仮説

	人口(万人)	クルーズ人口(万人)	クルーズ人口比率
アメリカ	31,387	1350	4.30%
イギリス	6,370	178	2.79%
日本	12,756	22	0.17%

※出典：The World Bank（人口）、Cruising & Cruise Ships 2014（クルーズ人口）（2012年1月）

C班 クルーズ船で行く南鳥島修学旅行 (2/2)

問題意識・仮説

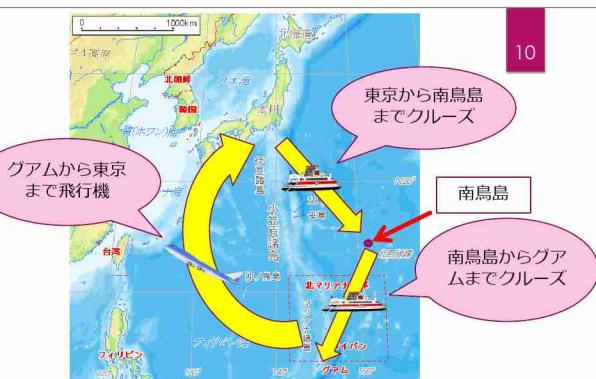
9

高校生のうちに国境離島に足を運ぶ

- 国境離島に関するニュースへの関心が高まる
- 将来的選択肢として離島に関する職業が加わる可能性がある

高校生のうちにクルーズ旅行を体験する

- 旅行手段としてクルーズ船を選択肢に入れるようになる
- 将来的クルーズ船利用客になる



日程（例）8泊9日①

11

*1日目：朝に東京を出発

*2日目、3日目、4日目：クルーズ

*5日目：南鳥島に到着

＜南鳥島でのアクティビティ＞

・国境離島で働く方のお話を聞く

・戦争の史跡を実際に見ながら有識者のお話を聞く

・南鳥島の自然に触れる

→夜に南鳥島を出発



日程（例）8泊9日②

12

*6日目、7日目：クルーズ

*8日目：朝、グアムに到着

＜グアムでのアクティビティ＞

・米国側の太平洋戦争関係者の講和

・自由時間

→グアムに宿泊

*9日目：飛行機でグアムを出発し、帰国

アクティビティ

13

▶ 映画鑑賞

戦争学習が目的のため、クルーズ船内で、戦争に関する映画を鑑賞する

▶ 事前学習

南鳥島をはじめとする国境離島や、太平洋戦争について事前に学習をする

▶ 天体観測

▶ ホエールウォッチング

▶ レクリエーション



修学旅行の制作について

14

一般的な修学旅行のプラン

・場所・日程・予算を学校側が指定し、旅行会社にプランを立ててもらう。



約3社の旅行会社にプレゼンをしてもらい、その中から決める。

企画主体

15

＜クルーズ船で行く南鳥島修学旅行＞



特殊な修学旅行のため、旅行会社が学校に売り出すのが難しい

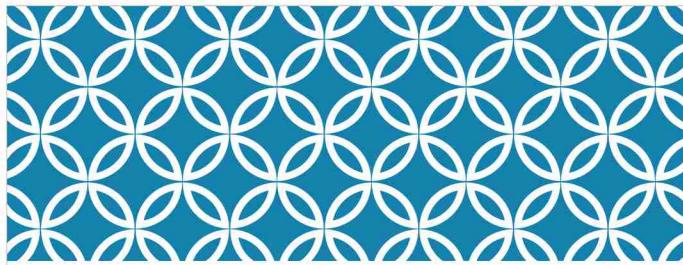
企画主体を国土交通省に



行政から勧められることによって、学校側も参加を考えるのでは？



D班 ①インターンシップを通じた地方の寄港地の魅力を発信する人材の育成



①インターンシップを通じた地方の寄港地の魅力を発信する人材の育成

人材育成D班
大橋奈央 加藤祐貴 谷中美結
岡根雄哉 柏原理香子

1

②海の総合的博物館の設立

目次

■短期的な取り組み

「インターンシップを通じた地方の寄港地の魅力を発信する人材の育成」

■長期的な取り組み

「海の総合的博物館の設立」

2

提案内容

Who 観光を学ぶ大学生

Where 地方のクルーズ寄港地の旅行業登録取得の事業体

What 實際の就労体験のような密度の濃いインターンシップ

When 春又は夏の長期休み 2~3週間

Why 問題意識参照

How 地域の魅力や特色を把握し、着地型旅行商品を作る

短期的な取り組み

3

(参考)宮崎県日南市



出典：日南市観光協会HP

宮崎県南東部に位置

大型客船の接岸可能な油津港がある

地域資源を活用した観光地魅力創造事業に選定

平成29年度クルーズ船40回寄港(平成26年度5回)を目標に

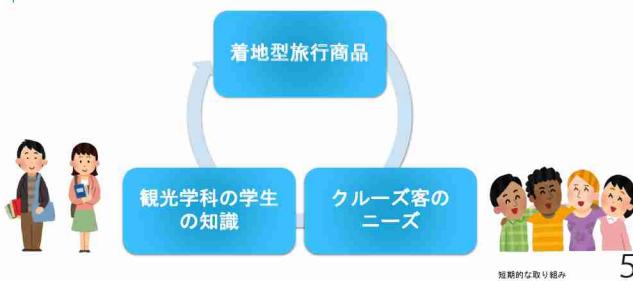
1. マーケティング調査等
2. 外国人観光客対応研修会
3. 体験交流型観光メニュー

短期的な取り組み

4

提案のコンセプト

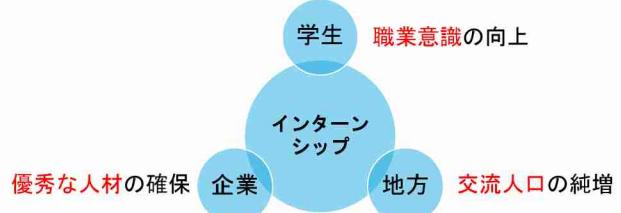
今ある観光資源をターゲット
を絞り、旅行商品にする！



短期的な取り組み

5

期待される結果



短期的な取り組み

6

提案実現のために…

クルーズを誘致し、地域を活性化させたい！
観光の知識を持つ人材を確保したい！

という地域を募集しています。

短期的な取り組み

7

得の事業体

ンターンシップ

旅行商品を作る



D班 ② 海の総合的博物館の設立

提案内容

Who	日本国民・老若男女
Where	東京23区など人が集まりやすい海岸部
What	日本の海に関する博物館
When	日本の海洋について学ぶ時
Why	問題意識参照
How	海洋教育について学べる環境をつくる

長期的な取り組み

8

(参考)韓国 国立海洋博物館

- ・国際クルーズターミナルに近い
- ・海について幅広いテーマを取り扱っている
例) 歴史・科学・産業等
- ・子どもでも楽しめる施設
例) 子供図書館
海の生き物と触れ合うコーナー

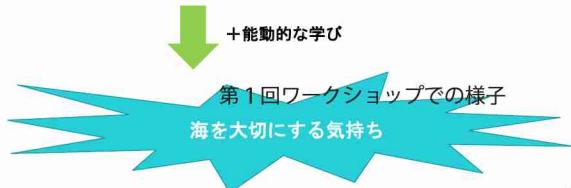


出典：韓国観光公社、PUSAN navi

9

提案のコンセプト

海洋教育の意味合いを持ち、日本全体の海に関する情報を網羅する海の総合的な博物館



長期的な取り組み

10

施設における設備

- 海に関する仕事の紹介
- 海底資源・海洋資源の展示
- 子ども向けの学習の場
- 海の図書館



身体を動かし、自らの身をもって学ぶ

長期的な取り組み

11

【急募】 提案実現のために！

日本の皆さん

日本の海について危機感がある・・・

行政の皆さん

海に関する知識を一ヵ所で理解したい！

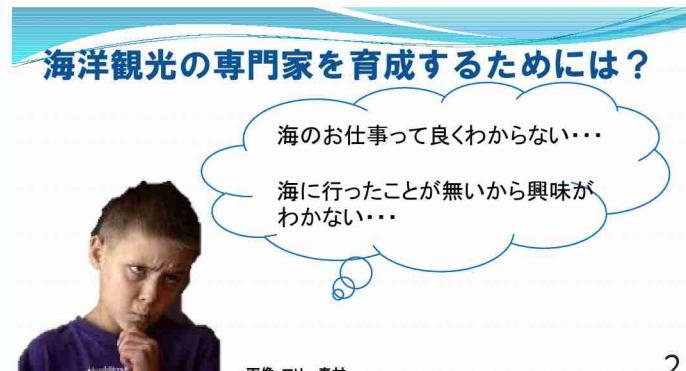
長期的な取り組み

12



F班 2015年 海洋観光 企画書

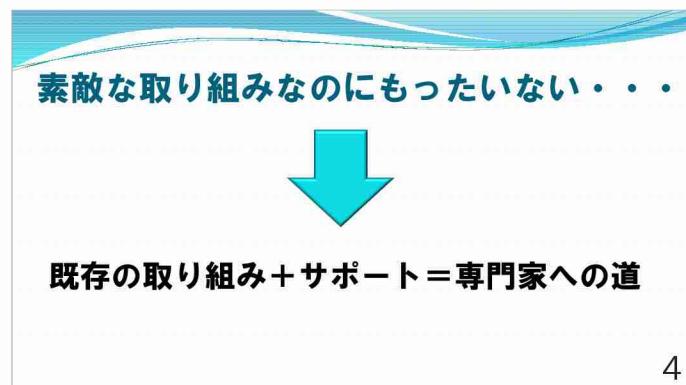
～海洋観光の専門家を育成するためには～



2



3



4



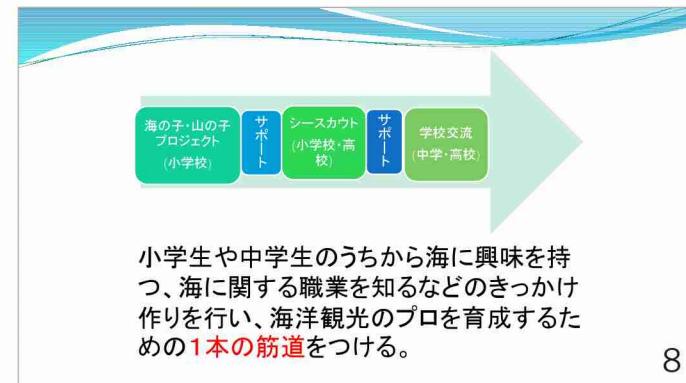
5



6



7



8

G班 「海のインターンシップ」

“感動”の経験から海をもっと身近に (1/3)

海洋観光プロジェクト企画発表
平成28年1月18日

「海のインターンシップ」 “感動”の経験から海をもっと身近に

③海の魅力発信 G班 矢ヶ崎ゼミ
田島文彩 稲川瀬 蝦名凌平
坪慎太郎 佐野若菜 野見山彩紀

2

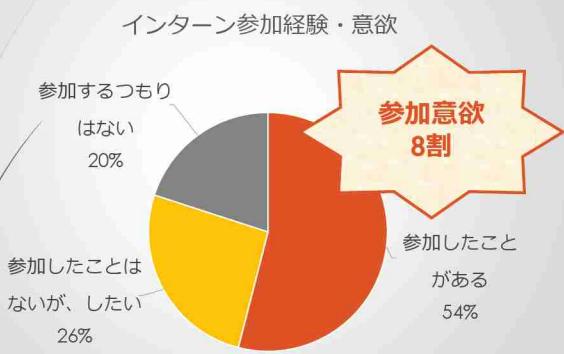
発表内容

- ねらい
- 提案
- 1. 取組概要
- 2. ターゲット
- 3. プログラムスケジュール
- 4. 民家ホームステイ
- 5. インターンシップ
- 6. 発信方法

海洋観光プロジェクト ③海の魅力発信 G班 「海のインターンシップ」

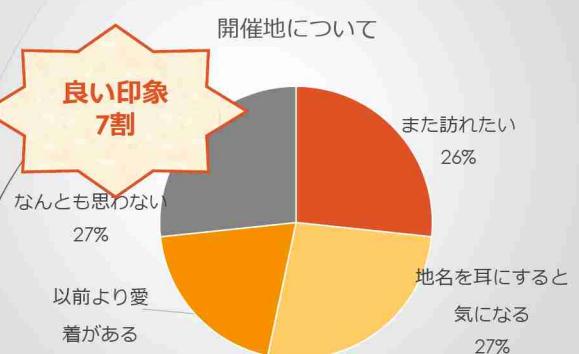
3

ねらい 【旅行×インターン】



4

ねらい 【旅行×インターン】



5

ねらい 【海】

“海をもっと身近に感じてほしい”

$$\text{感動} + \text{生活} = \text{記憶}$$

感動の絶景と、
生活の体験を経て、
忘れられない記憶へ

海洋観光プロジェクト ③海の魅力発信 G班 「海のインターンシップ」

6

1. 取組概要

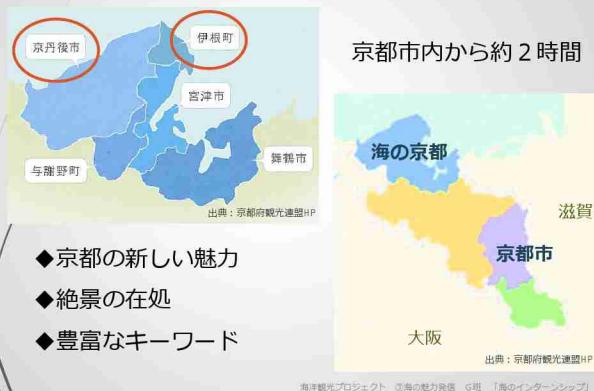
開催時期	海の京都	国交省主催
• 夏季休業期間	• 京丹後市	• 旅行会社
• 1週間	• 伊根町	• 自治体・地域住民
/	旅行 × インターンシップ	SNSで感動を発信
	海の魅力体験	

海洋観光プロジェクト ③海の魅力発信 G班 「海のインターンシップ」

G班 「海のインターンシップ」

“感動” の経験から海をもっと身近に (2/3)

7 1. 取組概要 【海の京都】



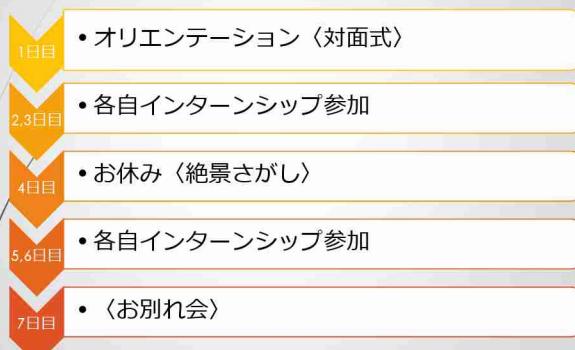
- ◆京都の新しい魅力
- ◆絶景の在処
- ◆豊富なキーワード

8 2. ターゲット



出典: 京都府観光連盟 HP ③海の魅力発信 G班 「海のインターンシップ」

9 3. プログラムスケジュール



出典: 南洋観光プロジェクト ③海の魅力発信 G班 「海のインターンシップ」

10 4. 民家ホームステイ



出典: 南洋観光プロジェクト ③海の魅力発信 G班 「海のインターンシップ」

11 4. 民家ホームステイ

【生活のきまり】

- 1日1回、家の方と食事を一緒に作ろう
- NOT「お客様」→家族の一員として暮らそう
- 毎日撮った写真の中から、お気に入りの写真をSNSに投稿しよう



出典: 南洋観光プロジェクト ③海の魅力発信 G班 「海のインターンシップ」

12 5. インターンシップ 【コース分類】

- ①海とジオパーク 〈京丹後市〉
- ②旅館と郷土料理 〈伊根町〉
- ③海の観光まちづくり 〈伊根町〉

出典: 南洋観光プロジェクト ③海の魅力発信 G班 「海のインターンシップ」

G班 「海のインターンシップ」

“感動” の経験から海をもっと身近に (3/3)

13 5. インターンシップ 【コース①】

①海とジオパーク 〈京丹後市〉

海岸ジオパークで自然のスペシャリストになる！



出典：京丹後市HP

撮影者：鰐谷

14 5. インターンシップ 【コース②】

②旅館と郷土料理 〈伊根町〉

旅館業務を体験しながら、地元の料理を味わい、学ぶ！



出典：伊根町HP

15 5. インターンシップ 【コース③】

③海の観光まちづくり 〈伊根町〉

“海の京都”魅力を伝えるまちづくりを考える！



出典：伊根町観光協会HP

海岸観光プロジェクト ③海の魅力発信 G班 「海のインターンシップ」

16 6. 発信方法

- ▶ 参加中撮影の写真
- ▶ 体験内容やエピソード
- ▶ SNS、ハッシュタグ
#海のインターン #神の箱庭
#京丹後市 #海の京都



海岸観光プロジェクト ③海の魅力発信 G班 「海のインターンシップ」

17 実現に向けて

- ▶ ホームステイ、インターンシップ受入先
選定・依頼
- ▶ 詳細決定（費用、手配会社等）
- ▶ 募集（学部、ゼミ）

海岸観光プロジェクト ③海の魅力発信 G班 「海のインターンシップ」

18 終わりに

- ▶ 観光の力で、忘れない海の体験を



出典：海の京都HP

海岸観光プロジェクト ③海の魅力発信 G班 「海のインターンシップ」

I班 海上レストラン IN 角島

(1/2)

海上レストラン IN 角島

I班

相良悠介
藤井悠里
外川佳奈
佐藤仁紀



角島とは

★山口県下関市の日本海上にある島

★面積4.1平方キロメートル

★人口 約900人

★北長門海岸国定公園に含まれる

★観光資源

角島灯台、角島大橋、

角島大浜海水浴場

ダルマガク、

ハマヒルガオ、イカ



3

課題 高齢化→若者の活躍しづらい環境



<http://image.space.rakuten.co.jp/g01/51/0000799951/%img%4e6fd40rkezj.jpg>

5

○海の利害関係者の対立

→漁業vs.マリンレジャー

vs.海上レストラン！！？？



V S.



7

提案

海上レストラン



2

引用: URL (<http://rnavi.co.jp/mh53ap0000/menu/couse/2/>)

角島の現状

◎利便性（交通、救急医療）

◎話題性

△観光客急増への対応の遅れ

+自然公園法の厳しい規制

→宿、駐車場の不足

1 11月山口県自然保護課インタビューより



4

課題 地域がバラバラ

○海の利害関係者の対立

→漁業vs.マリンレジャー



9月元漁業組合長
surf side インタビューより

6

http://1ip.bisport.com/~B18uyOpH01/V456GQ@All/AAAAAAAANc/nECOtheB0/s400/boueki_tanitbu_nouka.png

海上レストランにより期待される効果

○地域の人と若者の交流の場

○若者が海の魅力の理解

○離島が活性化

8

I班 海上レストラン IN 角島

(2/2)

1. 地域の交流を促す場の提供

- 漁業者×マリンレジャー
→海の魅力増大



- 漁業組合職員×組合員（漁師）
→若手漁師育成



- 高齢者×（内部の）若者
→地域学習、担い手育成



<http://ameblo.jp/netdecomprint/entry-1197671093.html>
http://www.e-osc.co.jp/130505m_otani.html

9

3. 海上レストラン

- 海上レストランで10代に
ブルーツーリズムを経験してもらう

→バズマーケティングによる、
10代が楽しめる企画づくり



11

3. 海上レストラン

- ①マリンスポーツ体験
- ②舟の上で、調理・食事

→舟の上で地産地消の料理
→資金を生み出す
メニュー開発、調理は婦人会や漁師
→雇用機会の創出

13

2. 若者の受け入れ



10

→バズマーケティング

行先を決める7割が口コミと言われている。

10代のSNS利用をうまく使う。

→Facebook, Twitter, Instagram
この3つを最大限に生かす事が最適。

例：ポッキーの日

・経済効果が120%も伸長

・日にちを設定することによって毎年の宣伝が楽になっていく

12

